

【講義概要】

2020年4月には、いわゆる診療報酬改定が行われる。現在、厚生労働省では、中央社会保険医療協議会（中央社会保険医療協議会総会）を開催し、審議を進めているところである。これに対して、（一社）日本作業療法士協会（以下、「協会」）では制度対策部が中心となり、協会だけではなく、さまざまな学協会とも連携しながら、要望等を提案している。今回は、これらの協会の取組を紹介するとともに会員にも協力をお願いする。また、周知のとおりに厳しい社会保障財政の中で、政府主導の「全世代型社会保障検討会議」の第1回が開催されるなど、施策についても紹介し、今回の研修会の話題提供としたい。

【略歴】

1986年作業療法士免許取得。帝京大学医学部附属市原病院をはじめ4つの病院で、急性期から在宅・生活期までの、がん、脳血管疾患、外傷、内部障害、小児の発達障害、精神科疾患などの対象者へ作業療法を提供。2つの養成施設で後進の育成にも従事。2016年4月から2年間の厚生労働省老健局高齢者支援課で福祉用具・住宅改修指導官、（併）介護ロボット開発普及推進官として平成30年度介護保険の関連した改正・改定、介護ロボット開発普及の推進に関与。2018年4月から現職。

一般社団法人日本作業療法士協会理事・認定作業療法士・臨床実習指導認定者、終末期・緩和ケア作業療法研究会監事の他、がんのリハビリテーション研修会運営委員、リンパ浮腫研修運営委員、等